

みず かんきょうちょうさ 水の環境調査

実施日：平成〇〇年〇〇月〇〇日（〇）△・□・×校時

場 所：××××××××川

1 準備する物

(1) 服装

- ・ 水に入るので、少々ぬれてもよく、動きやすいものを着てください。
- ・ 川は日陰がないので、帽子をかぶる。
- ・ 履き物は、濡れてもよい運動靴がよい。深めの長靴でもよい。スリッパは水に流されやすく危険です。

(2) 必要なもの（班）

バケツ（1つ） 白いバッド（1つ） 小分けの白い小容器（講師が準備）

スポイトとピンセット（一人に、どちらか1こずつ）

虫メガネ

えんぴつ

2 水生昆虫の採集の方法

- (1) バケツに半分ほど水を入れておきます。
- (2) バケツに入る大きさの石を、そ〜と取ってきて、バケツの中に入れて、石に着いている水生昆虫を手で洗い落とします。水生昆虫はバケツの水の中へ落ちていきます。これを十回くり返します。
- (3) 水生昆虫の入ったバケツの水をバッドに移しますが、あふれる水は、あらかじめ上の方からくみ取り、個別の小容器に移します。余った水は捨てます。
- (4) バッドの中の水生昆虫を、ピンセットやスポイトで、拾い取り、種別に分けて、別々の小容器に集めます。

3 水環境調査記録用紙への記入

- (1) 小容器の水生昆虫の数を調べます。
- (2) 小容器の水生昆虫の種別の名前を調べます。

名前の調べ方

- ・ 体のくびれ（3つ・多数）
- ・ 足のつめの数（1本・2本）
- ・ 尾の数（1本・2本・3本）
- ・ エラの場所
- ・ 足の本数（3対・（ ）対・多数）
- ・ その他の特徴（ ）

- (3) 一番たくさんいる種別を決めます。どちらかわからない場合は、両方を選びます。
- (4) 記録用紙に記録します。
- (5) 水環境調査の判定をします。

※ 調査した水生昆虫は、調査が終わると川に返します。

かわ みずかんきょう かいてき
川の水環境の快適さ

私たちの川の水環境の快適さを表現することは、とても難しいことですが、私たちが、川を訪れ、水辺に近づき、水遊びなどをしたときに感じる「快適さ」を5段階で表現してみました。

この5段階で評価される「水環境の快適さ」が、この調査法での評価値となります。

I (快適な水環境) 清らかで冷たさを感じる

さわやかに自然を楽しめる
ヤマメ、タカハヤが生息している

II (親しめる水環境) 水泳や水遊びができると感じる

水や水辺がこちよく感じる
アユ、ウグイ、カワムツが生息している

III (不快を感じない水環境) 素足で水の中に入れると感じる

川面や水辺に親しみを感じる
ヨシノボリ、オイカワ、コイが生息している

IV (多少不快な水環境) 素足では水の中に入りたくない

水辺に近づいて不快感がない程度
コイ、フナ、ナマズが生息している

V (不快な水環境) きたなくて、川で遊べないと感じる

水辺に近寄りたいたと感じない

※ I、II、III、IV、V はギリシャという国の数字です。
日本語の 1、2、3、4、5 です。
つまり、I = 1、II = 2、III = 3、IV = 4、V = 5 です。